

教科	国語	科目	論理国語	学年	2年	類型	普通科
単位数	文系 3単位 理系 2単位	教科書	論理国語	出版社	数研出版		
副教材	論理国語準拠ワーク						

学習の到達目標

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
- (2) 論理的, 批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

授業の概要

- ・多彩な論理的文章や実用的文章に触れることで、論理的な思考力や多角的な視点を身に付けることを目指します。
- ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、本文の内容（作者・筆者の意図）を的確に理解する力を育成します。
- ・基本的な言語事項の習得を重視し、語彙力（漢字・慣用表現など）を豊かにすることを目指します。
- ・科目の目標を踏まえつつ、折に触れて様々な言語活動を行います。それらの活動を通して、皆さんに高校生としてふさわしい「話す力・聞く力」や「書く力」といった表現力を育成します。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価の対象	定期考査・課題確認テスト（小テスト）・授業時の観察	定期考査・単元テスト・課題作文・授業時の観察など	学習への参加状況・課題などの提出状況・振り返りシートなど
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。</li> <li>・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。</li> </ul> <p>5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの                      4 … 十分満足できると判断できるもの                      3 … おおむね満足できると判断できるもの                      2 … 努力を要すると判断されるもの                      1 … 一層努力を要すると判断されるもの</p>		

年間学習計画

学期	単元	学習内容とねらい（内容のまとめりごとの評価規準）	定期考査
1学期	弱いつながり/主張の明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> <li>「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的に把握している。</li> <li>文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。</li> </ul>	1学期 中間考査
	逆説/手の変幻・胆力について	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> <li>「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的に把握している。</li> <li>文章の論理展開や表現を粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。</li> </ul>	
	具体と抽象/「内的成長」社会へ・「具体」から「抽象」へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。</li> <li>文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。</li> </ul>	
2学期	言葉と創造/添削の思想・国境を越える言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関連付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。</li> </ul>	2学期 中間考査
	近代と現代の視点/未来世代への責任・（近代）の人口と出口の間	<ul style="list-style-type: none"> <li>主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</li> <li>「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。</li> <li>文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。</li> </ul>	
	情報と社会/白紙・議事群衆の時代・消費されるスポーツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> <li>文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。</li> </ul>	
	文章の背景/「安楽」への全体主義	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。</li> </ul>	
3学期	言葉と思考/日本語は非論理的か・偶然とは何か	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。</li> </ul>	学年末考査
	背景理解と解釈/現代日本の開化・漱石が生きた時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解している。</li> <li>「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。</li> <li>課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章の内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。</li> </ul>	
	情報の視覚化/野生の「クジラ」と人間の「鯨」	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。</li> <li>「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。</li> <li>文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。</li> </ul>	

第2学年普通科

シラバス (国語) 科

愛媛県立大洲高等学校

教科	国語	科目	古典探究	学年	2年	類型	普通科
単位数	文系 3単位 理系 2単位	教科書	高等学校 古典探究	出版社	数研出版		
副教材	古典探究準拠ワーク						

学習の到達目標

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、伝統的な言語文化に対する理解を深める。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

授業の概要

- ・本校では、学習の習熟の程度に応じて習熟度別編成を行い、わかりやすいきめ細かな授業を行います。どの講座も進度は同じですが、学習の習熟に応じ、指導方法などを工夫します。
- ・さまざまな時代やジャンルの古文や漢文の作品を取り上げ、古典に対する親しみを持ってもらうとともに、日本の言語文化への興味や理解を深めていくことを期待します。
- ・大学進学を見据え、古文と漢文の読解力の向上を目指します。そのために必要な文法や句法を丁寧に説明し、定期的な小テストにより、確実な学力の定着を図ります。
- ・多彩な古典作品を取り上げて、内容や構成・展開を把握し、共感したり想像したりする能力を高めて、言語感覚を磨くことを期待します。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括(評定)します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで古典に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価の対象	定期考査・課題確認テスト(小テスト)・授業時の観察	定期考査・単元テスト・課題作文・授業時の観察など	学習への参加状況・課題などの提出状況・振り返りシートなど
備考	<p>・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。</p> <p>・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。</p> <p>5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの                      4 … 十分満足できると判断できるもの                      3 … おおむね満足できると判断できるもの                      2 … 努力を要すると判断されるもの                      1 … 一層努力を要すると判断されるもの</p>		

年間学習計画

学期	単元	学習内容とねらい（内容のまとめりごとの評価規準）	定期考査
1学期	説話/大江山（十訓抄）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、表現の特色について把握している。</li> <li>・積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。</li> </ul>	1学期 中間考査
	漢詩/ズームアップ 漢詩を作ってみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から考察し、自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・朗読から受ける印象の違いを話し合う活動において積極的に話し合いに参加している。</li> <li>・朗読から受ける印象の違いを話し合う活動に積極的に参加している。</li> </ul>	
	歌物語/初冠（伊勢物語）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・歌の比較をし、学習課題に沿って類似点・相違点を整理しようとしている。</li> </ul>	
	史伝/鴻門之会 項王自刎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典を読むために必要な文語の決まりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> </ul>	
2学期	日記文学(一)/物語（更級日記）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・『源氏物語』の「夕顔」や「浮舟」について進んで調べ、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。</li> </ul>	2学期 中間考査
	思想/探究の扉 未来に備える遺伝子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先人のものの身かた、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・諸子百家の文章から現代に通じる考え方を粘り強く見だし、積極的に文章に表そうとしている。</li> </ul>	
	物語/光源氏誕生（源氏物語）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</li> <li>・登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。</li> </ul>	
	随筆(二)/ゆく河の流れ（方丈記）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の作品や文章に流れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。</li> </ul>	
3学期	随筆(二)/あだし野の露（徒然草）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> </ul>	学年末考査
	文章/売油翁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</li> <li>・「売油翁」の末尾一文の意味について、グループでの話し合いにおいて積極的に意見を発表している。</li> <li>・筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて論理を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。</li> </ul>	
	随筆(二)/養和の飢饉（方丈記）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『方丈記』の教科書掲出箇所以外について積極的に読み、学習課題に沿って考察に取り組もうとしている。</li> </ul>	
	歴史物語/花山天皇の出家（大鏡）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、糸を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。</li> <li>・関連する二つの論理的文章を積極的に読み比べることで自分の考えを深め、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。</li> </ul>	
	和歌・歌謡・俳諧/江戸俳諧・発句	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・学習課題に沿って、粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。</li> </ul>	